

NITTO KOHKI CO.,LTD.

# Social & Environmental REPORT 2022

日東工器 2022年 社会・環境報告書



地球環境への取り組みを通じて  
社会的責任を果たし  
持続可能な社会を追求します

## 発行目的と編集方針

日東工器株式会社の社会・環境への取り組みと現状を、株主やお取引先をはじめとするステークホルダーの皆さまにご理解いただき、皆さまとのコミュニケーションを深めていくことを目的としています。社会貢献活動や環境負荷についての指標を中心に、正確で透明性の高い情報開示をモットーに編集を進めました。また、財務情報・企業情報について詳しくお知りになりたい方は、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.nitto-kohki.co.jp/>  
QRコードは冊子裏面に記載

## 対象期間

2021年4月～2022年3月

## 対象範囲

原則として、日東工器株式会社としています。また、参考としてグループ会社の栃木日東工器株式会社、白河日東工器株式会社、株式会社メドテックおよび海外グループ会社の環境負荷の状況報告を含んでいます。

## 発行時期

- ▶発行日：2022年5月17日
- ▶次回発行：2023年5月予定

日東工器では2010年から環境報告書、2015年から社会・環境報告書を発行しています。

## ガイドライン（参考）

- ▶環境省  
「環境報告ガイドライン（2018年版）」

## お問い合わせ先

- 日東工器株式会社 ISO推進部
- ▶TEL：03-3755-1111（代）
- ▶FAX：03-5700-7192

## 後発事象

2022年4月1日以降、発行日現在までの後発事象はございません。

## SDGsについて

SDGs（持続可能な開発目標）とは、国連加盟193カ国が合意した、2030年までに達成する「世界を変えるための17の目標」です。日東工器は、さまざまなステークホルダーと協働し、これらの目標に貢献する取り組みを積極的に行っています。関連するページには、SDGs17の目標のマークを付けてあります。

## 免責事項

この報告書には、日東工器株式会社の過去と現在の事実だけでなく将来についての計画、予想および見通しの記述が含まれています。これらの記述は、現時点で入手した情報に基づく仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって将来の事業活動の結果や事象が予測と異なる可能性があります。

|                |   |
|----------------|---|
| 編集にあたって        | 1 |
| Top Message    | 2 |
| Topics         |   |
| 新型コロナワクチン 職域接種 | 3 |

## Chapter 1 経営

|                                                                            |   |
|----------------------------------------------------------------------------|---|
| Part ① 企業統治（コーポレート・ガバナンス）/内部統制                                             | 5 |
| 社是・社訓・経営方針/取締役会および内部統制の役割/<br>コンプライアンスの整備・運用状況/<br>BCM（事業継続マネジメント）の体制・運用状況 |   |
| Part ② ステークホルダーとともに                                                        | 7 |
| Part ③ ビジネスモデル                                                             | 8 |
| Part ④ 事業分野・財務状況                                                           | 9 |

## Chapter 2 社会への取り組み

|                                                                                                      |    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| Part ① お客さまとともに                                                                                      | 11 |
| 営業部門の取り組み/コロナ禍でも「お客さまとともに」                                                                           |    |
| Part ② 学生との関わり                                                                                       | 12 |
| 会社説明会から入社まで/インターンシップによる学生の受け入れ                                                                       |    |
| Part ③ 社員との関わり                                                                                       | 13 |
| 日東工器グループ 未来の実/日東工器 創立記念式典/<br>ライフプランセミナーの開催/コンプライアンス研修の開催/<br>新型コロナウイルス感染症対策の実施                      |    |
| Part ④ 地域および社会との関わり                                                                                  | 15 |
| 簡易ベッド用段ボールを寄贈/「さくらテラス」栃木日東工器の展示会開催/<br>西日本物流センター新設と寄付活動/<br>障がい者をバスケットボールの試合にご招待/<br>携帯型吸引器「キュータム」寄贈 |    |

## Chapter 3 環境への取り組み

|                                                                    |    |
|--------------------------------------------------------------------|----|
| Part ① 日東工器が目指す環境経営                                                | 17 |
| 日東工器の重要な環境課題/日東工器のバリューチェーン                                         |    |
| Part ② 品質・環境方針/品質・環境マネジメントシステム                                     | 18 |
| 品質・環境方針（ISO9001・14001）/品質・環境マネジメント体制/<br>品質・環境マネジメントシステムの運用        |    |
| Part ③ 製品含有化学物質への取り組み                                              | 19 |
| 環境に関する法規制順守状況/グリーン調達/環境教育の実施状況                                     |    |
| Part ④ 地球温暖化対策・廃棄物の削減                                              | 20 |
| 地球温暖化防止に向けた活動/廃棄物の削減                                               |    |
| Part ⑤ 環境への影響について                                                  | 21 |
| Part ⑥ オフィスの取り組み                                                   | 22 |
| 日東工器本社/「ビジネスカジュアル」の制定                                              |    |
| Part ⑦ 製品開発                                                        | 23 |
| 自社製品コンセプト/環境配慮設計/モノがたり<br>ECO Topics                               | 24 |
| Part ⑧ 生産部門の取り組み                                                   | 25 |
| 栃木日東工器/白河日東工器/メドテック/<br>NITTO KOHKI INDUSTRY（THAILAND）/<br>海外環境データ |    |

## Top Message

# 産業界の発展と、豊かな人生、 そして社会へ貢献する企業へ

日東工器株式会社 代表取締役社長

小形明誠



2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ワクチン接種の普及が進む各国では経済活動が回復傾向にあります。日本経済においても感染拡大により厳しい状況が続いたものの、企業の設備投資や生産活動に持ち直しが見られました。その一方、伝播性の高い新しい変異株の感染拡大によって、再び感染者が増え、その中でどのようにコロナウイルスと関わりながら過ごしていくか、非常に難しい状況が続いています。そのような中ロシアのウクライナ侵攻が始まり、世界はますます混沌としています。多方面でどのように状況が変化するかわかりません。状況に目を凝らし、迅速に対応できるよう準備を怠らない必要があります。

## コロナ禍への対応

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大以降、ITを活用した営業活動や時差出勤、在宅勤務の推進を、緊急事態宣言発令やまん延防止等重点措置の有無にかかわらず継続して実施しています。

昨年度はワクチン不足で自治体での接種予約が取りにくかった時期に、地元の商工業振興会などと協力し、当社本社を会場に、社員がボランティアとして受け付けなどの事務を担当して、新型コロナワクチンの2回の職域接種を行いました。当社社員だけでなく、地元の商店や企業の約100事業所の約1,100人にも接種を行い、大田区や商工業振興会からも感謝状をいただきました。コロナウイルスの先行きはわかりませんが、今後も従業員ならびに関係者の皆さまの感染拡大防止を最優先事項としてまいります。

当社は営業活動の柱の一つとして、お客さまに製品を実際に「見て、触れて、動かしてもらおう」ことで、製品の本当の姿を知ってもらい理解を深めていただくことを大切にしています。コロナウイルスの影響で対面での営業活動が制限される中、ITを活用した営業活動を積極的に進めています。製品を紹介するYouTubeの動画を500本以上制作しアップロードしています。動画は日本語だけでなく、英語、ドイツ語、スペイン語や中国語など、10カ国語で制作しています。また、東南アジアでは展示会をWeb上

のバーチャルで開催し、活動しています。新型コロナが収束した後には想定される状況を見据え、さらなる業務の効率化、自動化・省力化による生産の合理化を進めてまいります。

## 地球温暖化対策・CO<sub>2</sub>の削減

その一方、地球温暖化も喫緊の大きな問題です。2021年、COP26で世界の平均気温の上昇を1.5℃に抑える目標に向かって努力することが合意され、各国が今まで以上に積極的な行動に移すことを求められています。カーボンニュートラル実現までの道のりは大変厳しいものですが、誰もが取り組む責任があります。当社は、創業以来「省力・省人化」をテーマに新しい時代のニーズに応える独創的な製品を追求し、開発してきました。生産効率化を促す当社の技術は、脱炭素社会の実現に向けてもさまざまなところで貢献できると考えています。

CO<sub>2</sub>を排出しない燃料電池自動車、「トヨタ・MIRAI」などに採用されている「HHVカブラ」などをはじめ、次世代の水素燃料用のカブラを開発、供給していきます。当社の技術は、水素利用のさらなる拡大により、CO<sub>2</sub>の削減に寄与し、カーボンニュートラルの実現に向けて、地球環境にやさしい水素社会の実現に貢献します。

## 環境配慮製品の開発

当社では、製品開発にDfE (Design for Environment=環境配慮設計) を取り入れています。開発段階から廃棄までを通した各段階で、環境配慮設計の実現度をチェックし、環境負荷をできるだけ低減することを考慮して開発しています。

日東工器は製品を通じた地球環境への取り組みばかりではなく、事業活動を通じて地球環境への負荷低減、顧客満足向上が当社の果たすべき重要課題であると認識し、社会や地域の皆さまへの貢献活動を行いながら、これからもさまざまな社会的責任を果たしてまいります。





## Topics | 新型コロナウイルス

# 新型コロナウイルス ワクチン 職域接種

日東工器本社大会議室を用い新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施しました。



**実施日** 【1回目】9月2日(木)～9月4日(土)  
【2回目】9月30日(木)～10月2日(土)

**会場** 日東工器株式会社 本社大会議室  
実施人数：約1,100人

## 職域接種実施にあたって

### 責任者の声

仲池上商工業振興会から新型コロナウイルスワクチンの職域接種の協力要請を受け、9～10月にかけて2回計6日間、当社と地元の商店および企業約100事業所の約1,100人に接種会場を提供しました。

職域接種にご協力いただいた運営委託業者提

供のオリジナル予約システムや、多くの医療従事者、医療関係団体の方々のお力添えで、地域の皆さまがより迅速にワクチン接種できるよう、全力で取り組みました。

地域の皆さまからの多くの感謝の声があり、運営の苦労以上に地域貢献できた喜びを感じます。



総務部 朝倉

### 担当者の声

職域接種実施の準備にあたり、申請に必要な接種希望者の確認・確保(最低1,000人以上)に苦労しました。

また、申請後の厚生労働省の申請受理が進まず、予定していた接種開始日が大幅に遅れたことにより、関係者への進捗報告と都度の希望人数調整、集計等が大変でした。

さらに、接種予定日の数日前にワクチン異物混入報道があり、ロットの確認や接種希望者への連絡等、接種開始直前までさまざまな調整が続きました。

会場には、外国人の方や12歳以上の子どもを含む、1,000人以上の方々をお迎えしました。そのために、設営には注意点・説明事項や感染防止対策のお願い等にイラストや写真を加えて工夫することで、掲示物デザインをすべての方に分かりやすくすることを心掛けました。

被接種者の方々からスムーズな運営を褒めていただき、社会貢献できたことに大きな達成感を得ました。

※ 第3回職域接種を2022年4月に実施



総務部 今井 総務部 金子





## 大田区・地元商工会・地域法人より感謝状受領

新型コロナウイルスワクチンの職域接種で、自社だけでなく地域の商店・企業の約100事業所／約1,100人にも会場提供と安全で円滑な運営を実施したとして、感謝状とともに以下のコメントをいただきました。

### 大田区区長より

「行政だけでは手が足りない中、職域接種の会場を地域の人にも提供していただき感謝いたします」

### 商工業振興会代表より

「コロナ禍で社員や家族が安心して勤務できる環境を整えていただき、心強かった」

感謝状受領の際に、日東工器の製品説明および社会貢献活動の実施状況も紹介しました。今後も企業理念である「社会への貢献」を実践し、地域社会の発展へ協力してまいります。



## Part

## 1

全てのステークホルダーに誠意を尽くし、信用を蓄積し続けます。

# 企業統治（コーポレート・ガバナンス）／ 内部統制

## 社是

### 開発は企業の保険なり

社是にある「開発」には4つの意味が含まれています。

- ① 社会に貢献する製品開発
- ② 販売市場の開発
- ③ 人材開発
- ④ 組織管理体制の開発

これらの開発に全力を尽くすことが、会社の経営体質を強化し会社の永続的発展を保証する。すなわち「保険」であるということです。

## 社訓

- 創意を発揚し技術を蓄積しよう
- 鋭気を涵養し活力を蓄積しよう
- 誠意を尽くし信用を蓄積しよう

## 経営方針

- 社会への貢献
- 従業員の幸福
- 会社の発展

## 取締役会および内部統制の役割

2022年3月現在、取締役会は5人の取締役で構成され、毎月、定例取締役会を開催しています。取締役5人のうち2人は、会社との利害関係がない社外取締役です。

取締役会において、業務を執行する取締役は、会社が成長するために必要な提案を積極的に行います。社外取締役は、その提案について中長期的な企業価値向上の観点から意見を述べ、十分に審議をした上で決議をしています。また取締役会は、会社法に基づく業務の適正を確保するための体制の整備について決議します。

内部統制システムの基本方針は、ホームページ「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」で開示しています。内部統制システムを整備し、適切に運用することにより社会的責任を果たします。

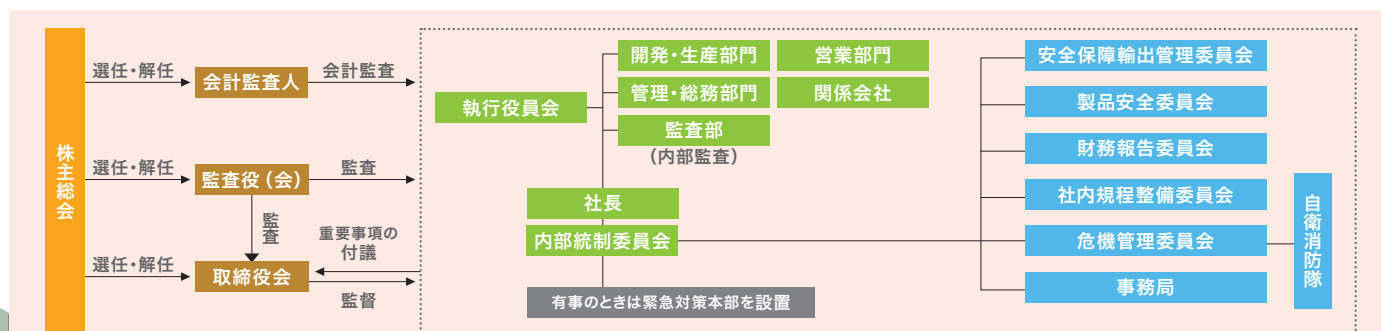
監査部は、独立した内部監査部門として社内全部門を網羅

的に、統制活動・リスク分析・情報伝達・業務改善・法令および社内規程の順守状況を客観的に評価し、経営の健全化・合理化に資するための監査を実施しています。2021年度内に、弊社製品がEUの化学物質法規制に抵触する事例が発覚し、EU当局へ届け出ました。また、利害関係者からの要求および苦情の報告はありません。

2022年3月現在、監査役会は3人の監査役で構成され、そのうち2人が社外監査役です。監査役は取締役会のほか重要な会議に出席し、取締役の任務遂行について厳正な監視を行うとともに適切に意見を述べています。

監査役は、各取締役・会計監査人・監査部（内部監査）と連携・情報収集を行います。そこで収集した監査に必要な情報を基に毎月、定例監査役会を開催し、審議を行い、必要に応じて経営改善のための提言などを行っています。

### 内部統制システムの状況（組織）





日東工器において、コーポレート・ガバナンスの目的は継続的に企業価値を高めていくことであるとの認識に立ち、適時適切な情報開示によって透明性を確保できるよう、経営の監視が適正に機能するよう努めてまいります。

## コンプライアンスの整備・運用状況

### ● コンプライアンスへの取り組み

日東工器グループは、企業理念に基づき、法令順守はもとより社内規程・企業倫理・社会規範にのっとり、良識を持って行動するための基本事項を定めています。これを適切に運用し、コンプライアンスの徹底と社会的信用の向上を図ります。

### ● コンプライアンス教育

コンプライアンスに関する「メールマガジン」を毎月、全社員に配信・周知しています。今後もコンプライアンス教育を実施していきます。

### ● コンプライアンス相談窓口

日東工器グループは「内部通報窓口」として社内、社外それぞれにホットライン（通報・相談窓口）を設置しています。また、内部通報規程やポスターで、社員に「内部通報窓口」を周知しています。

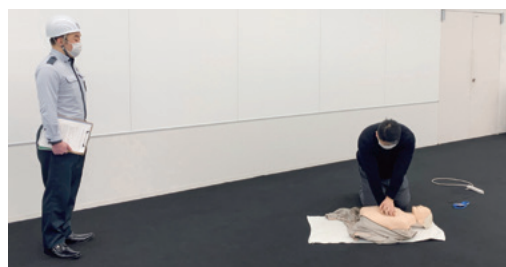


## BCM（事業継続マネジメント）の体制・運用状況

当社は緊急事態で優先すべき事項を次のとおり明確化し、BCMの体制構築および運用に取り組んでいます。

### 事業継続マネジメントの 基本方針

- ① 従業員・家族の命を守る
- ② 製品の供給継続
- ③ 社会的な責任を果たす



救命講習会（オンライン配信）

具体的には、2011年に発生した東日本大震災の早期復旧や、タイ国の大洪水で生じた工場浸水による一時的な国内工場への生産シフトの経験から、お客さまへの影響を最小限とする体制を構築しています。生産部門は購買ルートの確保・生産のバックアップ体制、販売部門は製品提供の維持・販売・営業拠点などのバックアップ体制の構築など、事業継続のための取り組みを行っています。その他にも海外治安情報の伝達・インフルエンザ対策・規程類の見直し・非常用品の備蓄・防災訓練・救命講習会などを計画的に行っています。

2021年8月、西日本物流センター（大阪）を新設しました。栃木の物流センター（東日本）に加え、西日本物流センターの2拠点体制とすることで、震災や感染症などの緊急事態における事業継続計画（BCP）体制の強化を図ります。<sup>※1</sup>

また、2021年も、新型コロナウイルス感染拡大の防止と事業継続の両立を図るため、感染拡大が著しい地域においては、従業員ならびに関係者の皆さまの感染拡大防止を最優先事項として、感染予防の取り組みを実施しています。<sup>※2</sup>

※1 西日本物流センターについて、P.16もご参照ください。

※2 感染予防の取り組みの一環として日東工器本社で新型コロナウイルスワクチン職域接種を実施。詳細は、P.3-4 Topicsもご参照ください。

当社の事業継続マネジメントに対する取り組みをご理解いただくため、BCMの体制および取り組みをホームページの「事業継続マネジメント」で公開しています。





Part

2

持続可能な社会の実現を目指しています。

## ステークホルダーとともに

日東工器は社是・社訓・経営方針に基づき、長年、産業界の発展に貢献してきました。製品や事業を通じた社会への貢献に加え、地域の皆さまへの貢献活動にも積極的に取り組み、これからも企業市民としてさまざまな社会的責任を果たしてまいります。



# Part 3

世界中のお客さまのご満足へ向けて。

## ビジネスモデル

### 日東工器のビジネスモデル



### 日東工器グループスローガン「技術で、人を想う。」

#### 1 お客さまからの要望・引き合い・製品提案

お客さまの期待に応えるため、ニーズを的確に捉えた活動をしています。

#### 2 市場開拓／製品企画／製品提案

新たな市場の開拓とユニークな製品の提供に努めています。世界各地、多業種のお客さまに製品の良さを実感していただいています。

#### 3 新製品開発／開発・設計

省力・省人化技術を生かした製品を提供し、社会への貢献を目指しています。安全・安心をお客さまへ提供するため、製品開発・研究を行っています。

#### 4 生産／製造／品質保証

- ・独自の生産技術：生産技術の開発を行っています。
- ・最適な量産体制：生産の平準化に取り組んでいます。
- ・品質の維持・改善：ISOをはじめ、各種認証を受けています。
- ・安全・安心をお客さまへ：法規制を順守して活動しています。

#### 5 販売（製品・サービスの提供）

製品を直接見て・触れて・動かしていただく展示会を開催しています。ホームページなどの情報を通じて、多種多様な製品を確認していただけます。

#### 6 お客さまへ

日東工器製品は、世界各地で購入し、修理などのアフターサービスを受けることができます。代理店・販売店とともに、製品知識の研修会を実施し、技術向上に努めています。





## Part

## 4

作業の省人化・省力化を軸に産業の未来を創造します。

## 事業分野・財務状況

日東工器は「開発は企業の保険なり」を社是に、独創的な技術による事業活動を展開してきました。

モノづくりを追求するメーカーとして半世紀以上にわたって事業を営んでいます。

事業は以下の4分野です。

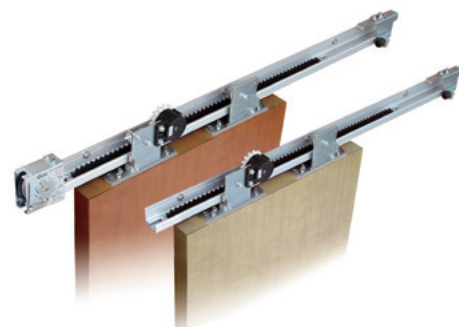
- ①25,000種におよぶ迅速流体継手「カブラ」
- ②省力化機械工具「ツール」、電動ドライバ「デルボ」
- ③リニア駆動などのコンプレッサ&ポンプとその応用製品「リニア」
- ④動力源不要のドアクローザ「オートヒンジ」

社是にある「開発」とは技術・製品だけでなく、マーケティング（営業）、人材育成などのイノベーション（創造的な変革）も意味しています。日東工器は、開発を軸とした経営によって、今後とも一層の成長・発展を目指してまいります。

### ドアクローザ（オートヒンジ）

ドアクローザは、開けたドアを油圧とスプリングで静かに閉め、快適で安全な生活空間を提供する環境に配慮した製品です。

安全に扉を開けられるドアクローザは、バリアフリーの面からも注目され、住宅・学校・医療施設など幅広い分野で採用されており、用途に合わせた製品を開発しています。



### 迅速流体継手（カブラ）

空気・水・油などの流体配管の着脱を簡単に、スピーディに行う継手製品です。世界のトップブランドとして、幅広い分野でさまざまな用途に活用されています。

生み出された製品群は25,000種類以上、業界ではトップクラスのシェアを誇り、現在では環境対応製品や、従来と異なる用途分野をマーケットに提案・提供しています。

さまざまな要求に応えるため、時代の先端をいく高品質・高機能製品の開発を進めています。



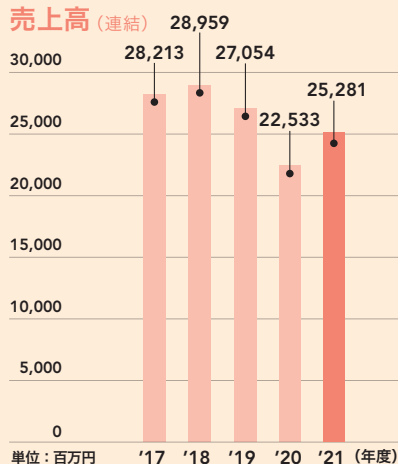
カブラ

45.3%

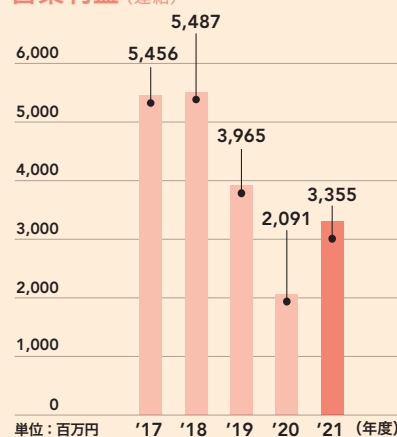
## 財務データ

財務データの詳細は、当社ホームページをご覧ください。 <https://www.nitto-kohki.co.jp/ir/library/>

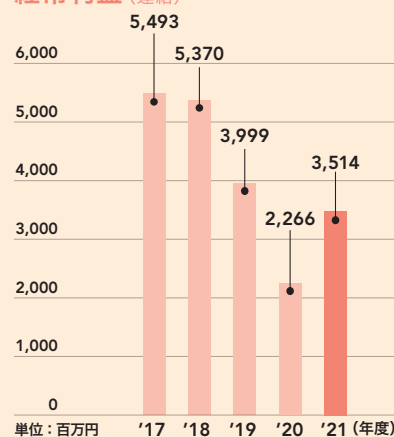
### 売上高（連結）



### 営業利益（連結）



### 経常利益（連結）



※ 財務データに関する記述は発行日時点での情報からの予測であり、実際の業績などは予測と異なる可能性があります。

### コンプレッサ&ポンプとその応用製品 (リニア)

日東工器が世界で初めて実用化した製品「リニア駆動ポンプ」を中心に、各種コンプレッサ&ポンプを揃えています。

これらの技術を応用し、医療・家庭向けのユニークな製品を展開しています。

その用途は、産業機器をはじめさまざまな分野へと拡大しています。

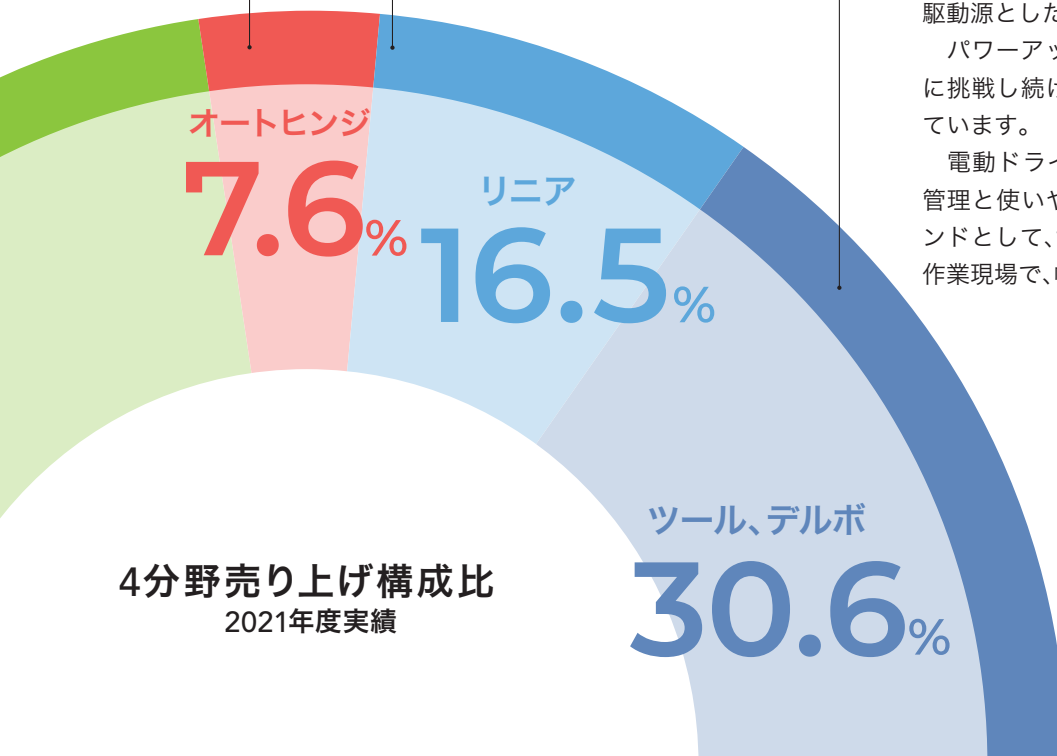


### 省力化機械工具と電動ドライバ (ツール、デルボ)

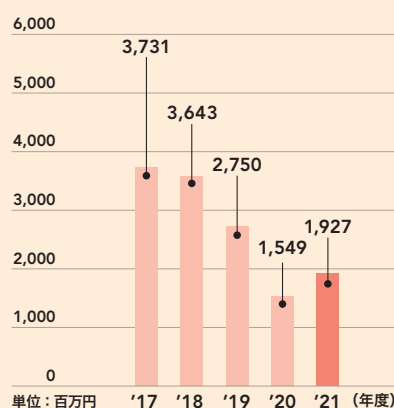
機械工具「ツール」は、さまざまな加工現場で加工形態・作業状況の多様化に合わせ、空圧・電動・油圧を駆動源とした製品群を揃えています。

パワーアップ、小型化という不変のテーマに挑戦し続け、常にニーズの一步先を追求しています。

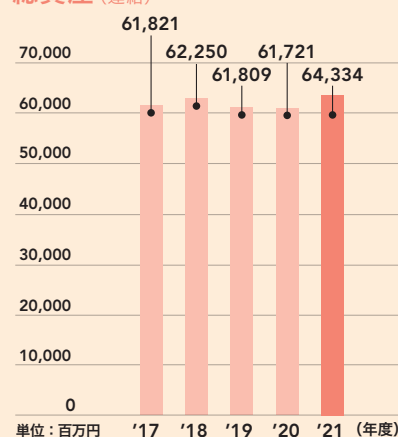
電動ドライバ「デルボ」は、高精度トルク管理と使いやすさなどを実現した信頼ブランドとして、世界中の精密機器分野の組立作業現場で、幅広く使用されています。



### 親会社株主に帰属する当期純利益 (連結)



### 総資産 (連結)



### 会社概要

#### 商号

日東工器株式会社

#### 設立年月日

1956年10月22日

#### 本社所在地

東京都大田区仲池上二丁目9番4号

#### 資本金

18億5,032万円  
(東証一部上場：機械)

#### 従業員数

単体 466人 (連結 1,023人)

#### ISO9001認証の取得年月

1997年12月

#### ISO14001認証の取得年月

2004年5月

#### 国内グループ会社

3社  
栃木日東工器株式会社  
白河日東工器株式会社  
株式会社メドテック

#### 海外グループ会社

6社  
アメリカ、ドイツ、タイ、  
オーストラリア (2社)、中国  
(2022年3月31日現在)

Part  
1

お客さまへの製品提案活動を通して環境負荷の低減を行います。

## お客さまとともに

12

つくる責任  
つかう責任

日東工器グループは地球環境への負荷低減を目指し、「環境配慮製品」を含めた「提案型営業」を推進しています。

## 営業部門の取り組み

日東工器は、よりお客さまに近い営業活動を目指し「環境配慮製品」の紹介をはじめ、「提案型営業」を積極的に進めています。

地域密着型の展示・実演・即売会の「アタックフェア」、当社と販売店との二人三脚で、お客さまに合わせた製品の提案活動を行う「アタックキャラバン」、各種製品を備え付けたキャラバンカーでお客さまのもとに出向き、ミニ展示会を行う「出前フェア」を実施しています。各活動で行

う「体感コーナー」では、製品を実際に見て・触れて・動かして、実感していただけます。

これからも、日東工器製品群とマーケットを熟知した販売店で構成する、独自の販売・流通組織「日東会」と連携し、地域に密着したきめ細かな活動を展開し、社会との絆を大切に、お客さまのお役に立てる製品の普及に努めていきます。

2021年度はコロナの影響で、従来の対面活動の多くを引き続き自粛しました。

## 2021年度実績

アタックフェア

0回

アタックキャラバン

43回 (90日)

出前フェア

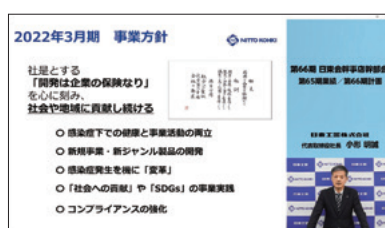
221回

## コロナ禍でも「お客さまとともに」

2021年度はコロナの影響で、お客さまの所へ訪問して、製品を見て・触れて・動かしてもらい、一緒に考え提案する従来の活動が非常に難しい状況になりました。そこで、お客さまを直接訪問せず、お客さまの役に立つようさまざまな新たな試みを行っています。

## 1.オンライン (Web) 幹事店幹部会

5月から6月にかけて開催している日東会幹事店幹部会は、2021年度も前年に引き続きオンラインで開催しました。



## 2.YouTube動画を充実

お客さまと直接会うことが難しいため、製品を見て・触れて・動かしてもらった代わりにYouTubeの動画を増やしています。

※2022/3末：771本 (日本語214本、外国語557本)



## 3.バーチャル展示会

海外でもコロナウイルス感染症の影響で展示会の実開催が難しいことから、インドネシア、マレーシア、フィリピンで累計16回、オンライン展示会（バーチャルアタックフェア）を開催しました。





## 学生との関わり



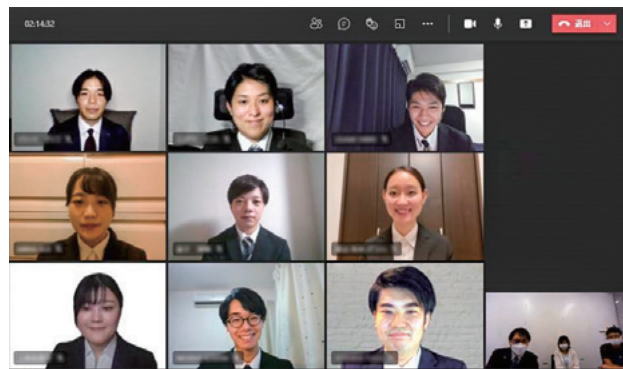
日東工器の採用活動では学生一人ひとりと理解を深め、ありのままの日東工器を知ってもらうことに重きを置いています。「インターンシップによる学生の受け入れ」「働く現場説明会」など、学生との触れ合いを通じてモノづくり産業に貢献しています。

### 会社説明会から入社まで

機械工具業界では知名度の高い当社ですが、就職活動中の多くの学生は「日東工器」を知りません。そのため当社は、日東工器と学生一人ひとりの「相互理解」を重視しています。学生の皆さんには、単に「良い会社」ではなく「自分に合う会社」を選んでほしいため、会社説明会では事業内容や製品だけではなく、「社是」「経営方針」「スローガン」についても説明します。

面接は少人数単位で実施します。1次面接は新型コロナウイルス感染症を配慮してオンラインで実施しましたが、最終面接者には来社してもらい、会社内の雰囲気を感じられる機会を設けました。最終面接後に人事担当者と面談を行い、お互いにしっかりと理解を深めたことを確認して正式内定に至ります。

2021年度の内定者については、コロナ禍のため対面での説明会や、内定時に毎年行っているグループ会社の工場見学会



が開催できなくなりました。その代わり、入社までの不安の解消や日東工器で働くことへの理解を深めてもらうため、オンラインでの内定者同士の懇親会や、内定式などを実施しました。

当社は、学生の思いと会社とのミスマッチがないように、「相互理解」を重視した採用活動を実施しています。

### インターンシップによる学生の受け入れ

#### 日東工器

#### インターンシップの実施

日東工器では学生の就業体験の機会提供として、毎年インターンシップや仕事体験を実施しています。

2021年度は、大学生・大学院生を対象とした日東工器独自の1day仕事体験を夏季と冬季に合計5回実施しました。

例年は対面実施のところ、コロナ禍の影響で1dayのオンライン形式にて実施し、当日は業界説明・会社紹介・グループワークを中心にモノづくりメーカーの理解を深める機会を設けました。学生からは、自己理解を深め新たな価値観を得ることができたとの声もありました。

#### Internship & Creationship Study (I・C・S) の開催

日東工器独自のインターンシップとは別に、2014年から、複数の企業・大学で連携しI・C・S<sup>\*</sup>というインターンシッププログラムを実施しています。

2021年度のI・C・Sは、コロナ禍ということもありオンライン開催となりましたが、関東：5大学40人、関西：5大学30人と例年と変わらぬ多くの学生を当社に迎え入れ、当日は、モノづくりメーカーへの理解を深めてもらうために、限られた時間の中で新製品開発のグループワークを実施しました。

I・C・Sを通して、「文系もメーカーで活躍できる」ことを、より多くの学生に知ってもらうことができました。

※I・C・S

Internship & Creationship Studyの略称。複数企業・大学間の交流を目的として、2014年に発足した大学1・2年生を対象としたインターンシッププログラム。関東の5大学5企業と関西の5大学5企業が連携し、関東・関西の地域を超えた交流も行っている。学生は参加企業に1日ずつ訪問し、計1週間を通して複数の業界・業種を体験するだけでなく、学生同士の交流も深めることができる。

#### インターンシップを通じて

各インターンシップの参加者からは「メーカーやB to Bの企業について知ることができた」「社員から、製品に対する愛情と誇りを感じた」「自分自身の働くイメージが明確になった」など、好意的な感想が多く聞かれました。

今後も学生にとって「社会・業界を学ぶきっかけ」「日東工器を深く知ってもらう機会」となるようなインターンシップを開催してまいります。



Part  
3

社員が安心して暮らしていけるように、より良い職場環境を目指します。

## 社員との関わり



日東工器グループは、社員の皆さんが安心できる職場づくりに力を入れています。社員向け決算発表会、社員向けライフプランセミナーなどを通じて会社を理解していただき、信頼される企業を目指しています。

日東工器グループ  
未来の実

2021年度の「未来の実」※は、『日東工器グループ全体で取り組みが可能な「明日から取り入れられるSDGs活動」を考えよう!』をテーマに募集を行い、個人やグループからの応募を含め、計125件の作品が集まりました。

テーマは、これまでの「新製品開発」から2020年度に一新した、「持続可能な開発目標 (SDGs)」を引き続き題材としました。日東工器グループが取り組む「SDGsの目標達成と持続可能な社会の実現に向け、事業を通じた社会の課題解決」に従業員全員で考え、一人一人が「より良い会社づくり」を目指すきっかけにしました。

また、2020年度に実施したSDGs研修の講師を外部審査員にお招きし、社内役員も含め厳正な審査を行った結果、たくさんの作品の中から金賞2件を含む8件を選定。10月22日の創立記念式典で授賞式を行いました。今回金賞に選ばれた2つの制度提案は、今後日東工器グループの実際の取り組みにすることを目指していきます。

今後も、日東工器グループ全員がさまざまな課題について考えるきっかけづくりとなるよう、時世に合わせたテーマで「未来の実」の募集を続けていきます。

※「未来の実」：日東工器グループ全員が、新製品や新制度について提案する社内の恒例行事



金賞

TITLE 誰でも商品提案制度

SDGsの取り組み項目



金賞

TITLE 技能マイスター制度

SDGsの取り組み項目

日東工器  
創立記念式典

65回目の創立記念日の式典を、2021年10月22日に開催しました。式典では、社長からのメッセージが伝えられ、活躍する社員に以下の各賞が授与されました。

- ① 優れた開発・発明に贈られる「発明報償表彰」「技術ノウハウ報償表彰」
- ② 改善提案活動に贈られる「改善提案年次賞表彰」
- ③ 勤続30年目の社員に贈られる「永年勤続表彰」
- ④ 自動車運転無事故無違反者に贈られる「無事故無違反表彰」
- ⑤ SDGs取り組みのアイデアに贈られる「未来の実表彰」



## ライフプランセミナーの開催

50歳以上の社員を対象とした「日東工器グループライフプランセミナー」を、今年度は2021年10月に開催し、配偶者の方も含め合計38人が参加しました。

また、今回初めての試みとして、会場とオンラインの同時開催を行い、これまで会場での参加が叶わなかった遠方の社員など、例年の倍近くの人数で実施しました。

当日は「定年後の生きがい」や「退職後のマネープラン」など、日常あまり触れ

ることのない情報が多く、参加者は熱心に講義に耳を傾け、実際にさまざまな金額を計算することで、定年後や退職後の過ごし方をシミュレーションしていました。

参加者からは「今後の人生プランについて家族で考えるきっかけとなった」「退職間際にもう一度参加したい」といった感想が寄せられました。今後も、定年後のライフプランに役立つセミナーを企画していきます。



## コンプライアンス研修の開催

日東工器グループでは、社員が安心して働くことのできる職場環境構築のために、定期的にコンプライアンス研修を実施しています。2021年度はハラスメント防止研修とインサイダー取引防止研修を実施しました。

### ①ハラスメント防止研修

2020年6月の「パワハラ防止法」施行を背景に、日東工器グループでは「ハラスメント防止規程」を制定し、今年も全従業員を対象とした「ハラスメント防止研修」を開催しました。

ハラスメントの基礎知識や事例を学ぶだけでなく、管理職層と一般職層に分けて実施することで、自分の物差しと相手の物差しに違いがあることについて、より

理解を深めることのできる研修としました。

### ②インサイダー取引防止研修

昨今、日常生活では当たり前となったSNSの普及も踏まえ、今一度重要情報の取り扱いについて学ぶ機会として、「インサイダー取引防止研修」を実施しました。

身近なところに情報漏洩や情報授受の可能性のあることに気が付くきっかけとなり、SNSの利用だけでなく、何気ない会話も含めて、情報の取り扱いには十分な注意が必要であることを学ぶ機会となりました。

今後も、健全な職場環境づくりのために、継続的なコンプライアンス研修を実施してまいります。



## 新型コロナウイルス感染症対策の実施

新型コロナウイルス感染症の拡大防止と従業員・家族のリスク低減を目的とし、日東工器ではさまざまな対策を実施しています。

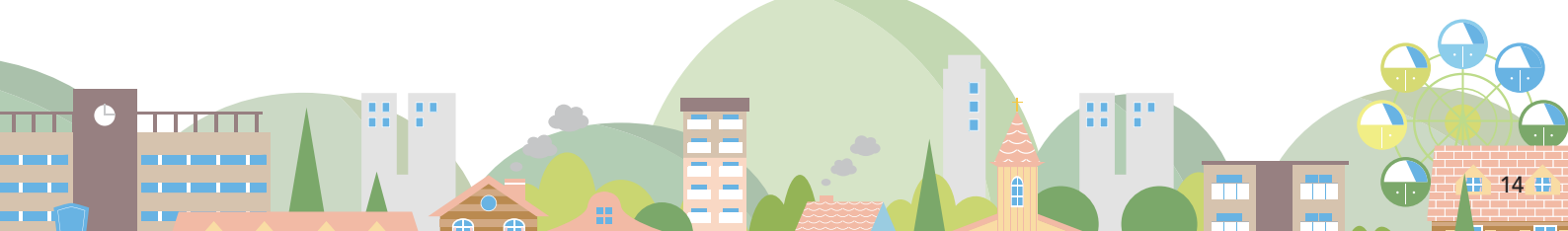
一例として、時差出勤や在宅勤務、自動車通勤の許可、抗原検査キットの発送、在宅勤務用のモニター支給などを行っています。

今後も従業員および家族が安心できる職場環境の構築を目指し、感染症対策を進めてまいります。

### 日東工器新型コロナウイルス感染症対策について

| 具体的な取り組み                                                                                                | 主な拠点                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 国内外の出張制限<br>Web会議の活用・インフラ整備<br>サーマルカメラ・アルコール消毒器・会議室へのアクリル板の設置<br>PCR検査費用の補助<br>抗原検査キットの備蓄・活用（必要時自宅への発送） | 日東工器（本社・各支店）、工場（国内3か所） |
| 時差出勤、在宅勤務、車両通勤の許可                                                                                       | 日東工器（本社・各支店）           |
| 日東工器本社で職域接種※の実施                                                                                         | 日東工器（本社）               |
| 在宅勤務（出社率調整）                                                                                             | 海外拠点（工場除く）             |

※ 職域接種についてはP.3-4 Topics参照



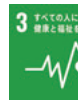


## Part

## 4

地域の皆さまと良好な関係を築き、社会に貢献します。

## 地域および社会との関わり



日東工器グループは地域の皆さまと良好な関係を築き、ともに成長していきたいと考えています。今後も事業活動に加え、さまざまな活動を通じて地域や社会に貢献していきます。

### 簡易ベッド用段ボールを寄贈

NITTO KOHKI INDUSTRY (THAILAND) (以下、NKIT) は、新型コロナウイルス感染症患者のための簡易ベッドを提供する活動に賛同し、2021年5月、地元タイ国アユタヤ県のショッピングセンター「アユタヤシティパーク」へ段ボールを寄贈しました。段ボールは簡易ベッドに加工され、タイの仮設病院へ提供されました。

今回の活動に対し、「アユタヤシティパーク」より感謝状をいただきました。NKITは、社会貢献活動および環境安全活動の一環として、今後もこのような活動に取り組んでまいります。



### 「さくらテラス」栃木日東工器の展示会開催

2021年7月の約2週間、当社生産拠点・栃木日東工器を紹介する展示を、さくら市の情報を発信する施設「さくらテラス（JR氏家駅前）」で行いました。

「さくらテラス」ではさくら市の自然・文化・伝統芸能や、さくら市ゆかりの企業に関するさまざまな展示が行われています。

栃木日東工器は、生産しているカプラ製品、ポンプ製品などを展示したキャラバンカーを施設に持ち込み、製品の紹介や工場内の生産の様子などを写真やビデオで紹介しました。さくら

市長をはじめ、多くの方にご来場いただきました。

本展示会を通じ、栃木日東工器をさらに理解し、生産している製品を身近に感じてもらうことができたとともに、ご来場者さまへ配布した疫病退散妖怪「アマビエ」のキーホルダー※もご好評をいただきました。これからもさくら市の一員として、地域に密着した活動を行っていきます。

※ 栃木県の障がい者就労支援施設「むつみの森」への支援の一環として「むつみの森」で作られたキーホルダーを購入し、配布しました。



## 西日本物流センター新設と寄付活動

新たな物流拠点として「西日本物流センター」を2021年8月に新設しました。これにより当社の物流拠点は東日本（栃木日東工器）と西日本の2か所になり、西日本のお客さまに今まで以上に迅速に商品をお届けすることができます。また、地震などの災害時も、2か所に物流拠点を分散することでリスクを下げるすることができます。

西日本物流センターには、西日本支社内にあった商品管理部門も移動しました。移動時には商品管理部門で不要になった什器や備品などを処分しました。当社では不要になったゴミなどはリサイクルできるように可能な限り分別し、売却しています。その売却益はボランティア団体などに寄付していますが、今回も同様に寄付しました。

今後も環境への負荷軽減を念頭に置き、適切な購入および廃棄の際には再資源化・正しい分別を行い、その活動を通じてボランティア団体の活動に貢献できるようにしていきます。



## 障がい者をバスケットボールの試合にご招待

日東工器は、経営方針として「社会への貢献」を掲げています。2022年1月、スポーツを通じた社会貢献活動として、東京都大田区内に在住の障がい者と付き添いの方や当社社員ら約100人を、女子バスケットボールトップリーグ「Wリーグ」に所属する「東京羽田ヴィッキーズ」※の試合に招待し、観戦しました。

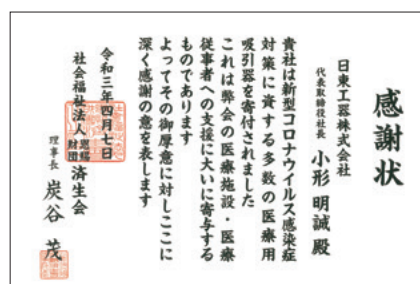
招待者からは、「コロナ禍で外出する機会が少なくなっていたので、久しぶりに会場で観戦できて楽しかった」「シュートが入るハラハラ感、緊張感がとても楽しかった」という感想をいただきました。今後もこのような社会貢献活動に取り組んでまいります。

※ 当社は、「東京羽田ヴィッキーズ」のオフィシャルパートナーとして「メドマー」を提供し、活動を応援しています。



## 携帯型吸引器「キュータム」寄贈

新型コロナウイルス感染症により肺炎を発症し、たん吸引が必要となる状況が増えていました。そのような中、全国の済生会36病院を中心に多くの病院へ携帯型吸引器「キュータムQT-500A」を寄贈しました。そのことに対し、2021年4月、当社に済生会の炭谷理事長が来社され、感謝状をいただきました。



## Part

## 1

環境と人に優しく、持続可能な経営を実現させます。

## 日東工器が目指す環境経営



ISO14001を基本として、環境に配慮した省力化・省エネルギー製品の開発、さらに生産効率化と省エネルギー生産、廃棄物の削減、営業活動、製品輸送など全ての業務活動において、環境と人に配慮した持続可能な経営を推進してまいります。

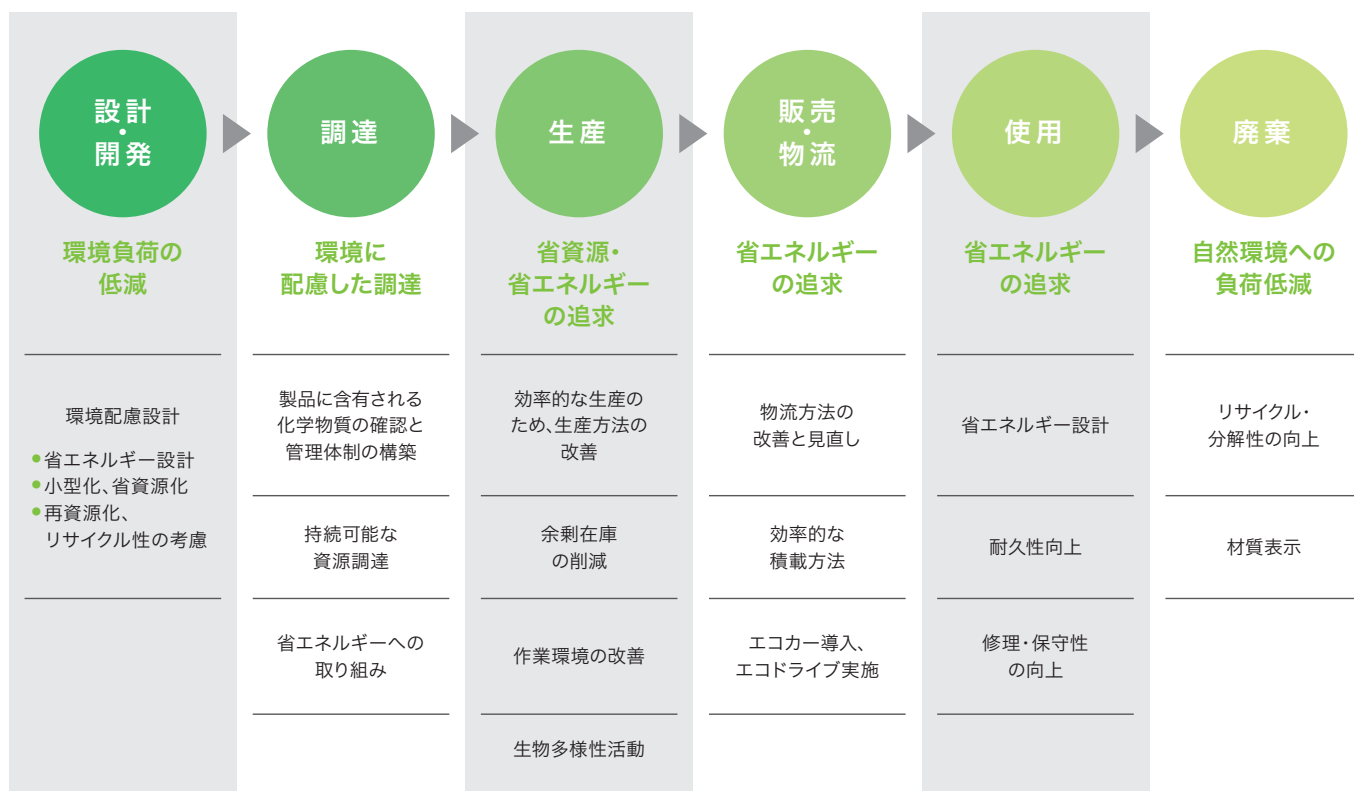
### 日東工器の重要な環境課題

日東工器は省力化・省エネルギー製品の開発・生産・販売を行うメーカーです。その事業活動の中で環境に影響を与える主要な環境課題となるものは、右記になります。当社はISO14001・ISO9001の規格にのっとり、これらを重要環境課題として認識し、取り組んでいます。

- ① 開発製品の環境負荷の低減（環境配慮設計）
- ② 製品含有化学物質の管理と体制の構築
- ③ 効率的な生産の追求
- ④ 開発・生産・販売、通常の業務におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減（電力・ガソリンなどの使用量、廃棄物排出量、紙類リサイクル量など）

### 日東工器のバリューチェーン

日東工器は、設計・開発から調達、生産、販売・物流、使用、廃棄までの各ステップで、環境への負荷低減を意識した取り組みをしています。





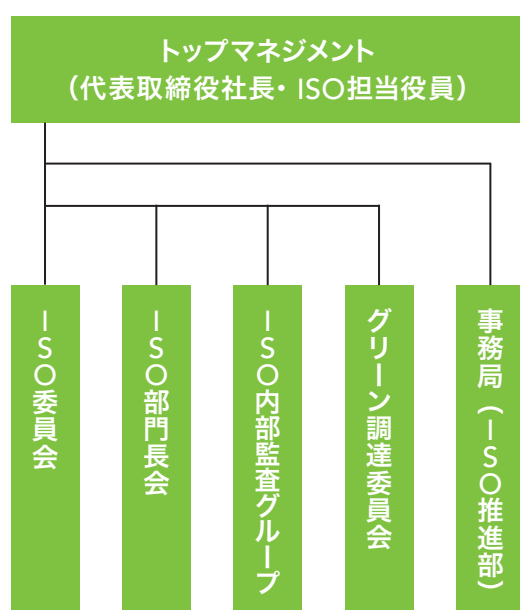
# 品質・環境方針／ 品質・環境マネジメントシステム

ISO9001および14001を基に、製品開発・生産・営業活動・輸送・サービス活動など全ての業務活動において、環境と人に配慮し、顧客満足の向上を図り、持続可能な経営を推進してまいります。

## 品質・環境方針〈ISO9001・14001〉

- 1 日東工器株式会社は、全従業員一人一人がISO（品質および環境マネジメントシステム）を有効に活用し、迅速流体継手「カプラ」、機械工具（空圧機器／油圧機器／電動機器）、空気圧縮機・ポンプおよびそれらの応用製品、建築機器（ドアクローザ）などの製品設計から販売までの業務および、それ以外全ての業務において製品品質保全を包括した顧客満足向上、環境保全に努めます。
- 2 環境配慮の製品設計、グリーン調達・購入、省資源・省エネルギー、リサイクルの促進、廃棄物の削減などに取り組み、環境汚染の予防に努めます。
- 3 企業活動における順守義務事項を順守します。
- 4 品質および環境目標を設定し、運用し、定期的に内部監査・マネジメントレビューを行い、事業活動と整合した活動として品質および環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
- 5 企業活動における業務プロセスを明確化し、業務改善を図ります。
- 6 この方針は文書化し、全従業員に周知徹底するとともに、社外からの求めに応じて公開します。

## 品質・環境マネジメント体制



## 品質・環境マネジメントシステムの運用

- ①ISO部門長会：1回／年  
年間の活動状況の報告・ISO内部監査結果や次年度の活動について伝達を行います。
- ②ISO委員会：1回／月  
各部門実績報告より、目標に対する進捗状況確認・年間計画の実施・各部門へ周知事項の伝達などを行います。
- ③ISO内部監査：2回／年  
ISO9001/14001規格対応状況・業務における有効性・業務活動自体の効率性・弱点または優れた点を顕在化させ、改善を図ります。
- ④マネジメントレビュー：2回／年  
経営企画部およびISO管理責任者が、「ISOマネジメントレビュー報告書」を作成し、トップマネジメントへ活動総括を報告します。トップマネジメントは、報告書でISO活動の定期レビューを実施します。

Part  
3

環境と人に優しい安全性を追求します。

## 製品含有化学物質への取り組み



日東工器は、環境法規制順守・グリーン調達・製品含有化学物質調査・社員の環境教育などを通じて、より安全な製品を生産する仕組みを構築しています。

## 環境に関する法規制順守状況

日東工器で制定した「グリーン調達基準」の全製品対応において、2021年度内に一部製品でEUの化学物質法規制に抵触

し、EU当局の指示を仰ぐ事例がありました。この対応処置の詳細は、当社ホームページに公開しています。

## グリーン調達

日東工器は、品質や価格だけでなく環境にも配慮します。環境負荷が小さい材料・部品・資材などを、環境負荷の軽減に努める仕入れ先さまから、優先して購入する取り組みを実施しています。

## ①グリーン調達方針

グリーン調達方針は、方針を定める目的・適用する範囲などを制定し、日東工器に関わりのあるさまざまな人に開示して、日東工器の企業姿勢を表明しています。

## ②グリーン調達基準

生産活動に関わる仕入れ先さまに、日東工器のグリーン調達の考え方を示し、各種法規制順守の要請を行う基準です。本文と管理化学物質リストで構成されており、仕入れ先さまは日東工器のホームページからダウンロードできます。2004年に制定し、2022年4月現在9.4版を開示しています。

## ③グリーン調達委員会

グリーン調達活動を推進することを目的とした組織です。商品事業部・生産事業部・各生産拠点から委員が出席し、毎月グリーン調達活動におけるさまざまな議案を討議しています。

2021年度の活動では、欧州RoHS(II)指令の適用除外用途改正に伴い、各製品群別に各種材料代替対応を進めました。しかし、欧州議会および理事会での期限延長審議（期日未確定）を受け、日東工器でも期日決定まで代替対応を延期することとしました。

これら対応の一部例外事項については、対応状況を当社ホームページ上でお知らせしています。

## ④日東工器の製品含有化学物質調査

JAMP<sup>※1</sup>に会員として加盟し、2021年度は「chemSHERPA<sup>※2</sup>」による調査管理を行ってきました。同様に仕入れ先さまにも「chemSHERPA」による調査を依頼し、調査実施・管理していただきました。

※1 JAMP（アーティクルマネジメント推進協議会）：

化学物質情報を適切に管理し、円滑に開示・伝達する仕組みをつくり普及させるために発足した、製造業界横断の活動推進団体

※2 「chemSHERPA」：経済産業省主導で2015年にリリースされた化学物質の情報伝達ツール。国際規格IEC62474に準拠している

## 環境教育の実施状況

2021年度の日東工器およびグループ各社の環境教育の実施状況です。今後もさまざまな観点より、必要な教育を実施します。

|          | 日東工器  |        | 栃木日東工器 |        | 白河日東工器 |        | メドテック |        |
|----------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 内訳       | 開催教育数 | 延べ受講人数 | 開催教育数  | 延べ受講人数 | 開催教育数  | 延べ受講人数 | 開催教育数 | 延べ受講人数 |
| 合計       | 74回   | 1,389人 | 27回    | 261人   | 8回     | 125人   | 35回   | 223人   |
| 環境役割者教育  | 5回    | 80人    | —      | —      | 1回     | 5人     | 23回   | 38人    |
| 環境外部セミナー | 4回    | 11人    | —      | —      | —      | —      | 2回    | 4人     |
| 専門教育     | —     | —      | 3回     | 25人    | —      | —      | 1回    | 3人     |
| 新人環境教育   | 6回    | 28人    | 2回     | 4人     | 1回     | 3人     | 1回    | 3人     |
| 環境一般教育   | 54回   | 891人   | 15回    | 154人   | 5回     | 107人   | —     | —      |
| 緊急事態訓練   | 5回    | 379人   | 7回     | 78人    | 1回     | 10人    | 8回    | 175人   |

日東工器は環境方針にのっとり、リデュース・リユース・リサイクルを通して、コスト削減と環境保全を両立し、地球温暖化防止のため省エネルギー・省資源への取り組みを推進しています。

## 地球温暖化防止に向けた活動

### ●地球温暖化防止に向けた活動

日東工器はこれまでに、環境に配慮した製品の開発、電力の削減、燃費の改善、ペーパーレスの推進、資源のリサイクルなど、さまざまな取り組みを行ってきました。

一つ一つは小さな効果ですが、それらを積み重ね少しでも地球環境改善に貢献できるよう、各部門で目標を設定し、活動を続けています。

### ●CO<sub>2</sub>排出量

2021年度の当社のCO<sub>2</sub>排出量の実績は、1,066tとなり前年度に比べて46t減少しました。当社のCO<sub>2</sub>排出量の割合は、電力が約80%、自動車用の燃料が約12%で、この2つで約92%を占めています。

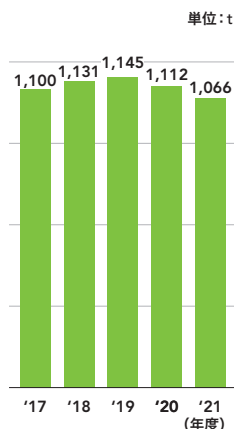
なお、CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガスについては、排出していません。(図1参照)

### ●電力使用量

2021年度の当社の電力使用量は、1,900kWhと前年度に比べ116kWh減少しました。(図2参照)

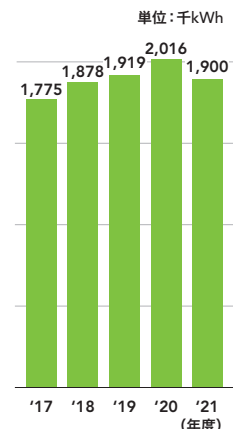
### ●CO<sub>2</sub>排出量の推移

(日東工器)(図1)



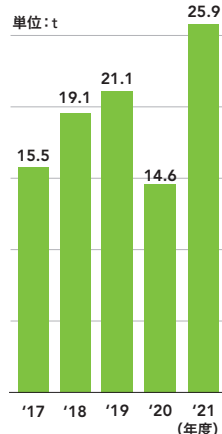
### ●電力使用量の推移

(日東工器)(図2)



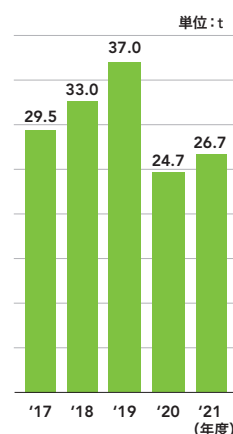
### ●廃棄物排出量の推移

(日東工器)(図3)



### ●紙類リサイクル量の推移

(日東工器)(図4)



## 廃棄物の削減

### ●廃棄物排出量

2021年度の当社の廃棄物排出量は、25.9tと前年度に比べ11.3t増加しました。廃棄物は廃棄時に材質などから14種類に分類し、できる限り後工程に負荷をかけずリサイクルできるように対応しています。(図3参照)

### ●紙類リサイクル量

2021年度の当社の紙類リサイクル量は、26.7tと前年度に比べ2.0t増加しました。(図4参照)

### ●コピー用紙使用量

各部門の業務改善の積み重ねや、裏紙の再利用などによるコピー用紙の有効利用は浸透しています。2021年度の当社のコピー用紙使用量は、2.9tと、前年度に比べ0.4t減少しました。(図5参照)

### ●コピー用紙使用量の推移

(日東工器)(図5)





Part  
5

環境負荷の低減を目指し、環境への影響の「見える化」に、継続的に取り組んでいきます。

## 環境への影響について

日東工器グループの国内拠点において、2021年度に投入したエネルギー量・水資源量・原材料その他購入品の量と、排出した環境負荷量・廃棄物量・リサイクル量および製品として出荷した量は以下のとおりです。



エネルギー



原材料



水



製品



二酸化炭素



リサイクル



廃棄物



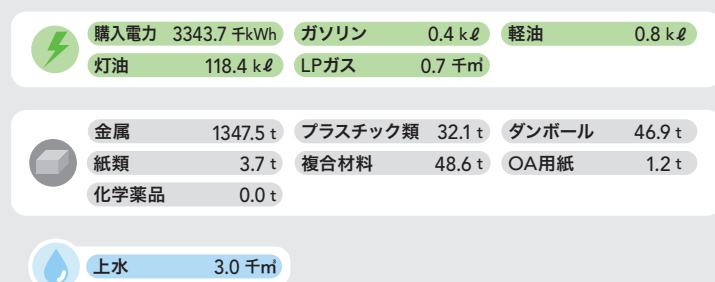
排水

### INPUT

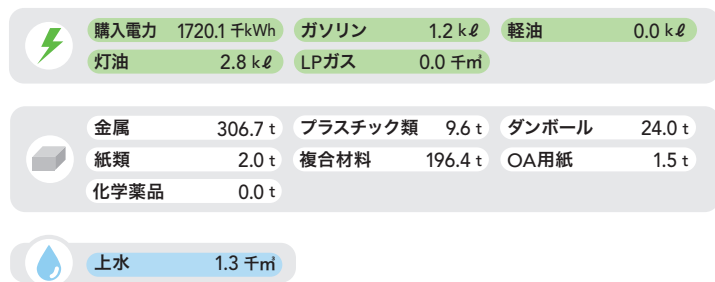
#### 日東工器



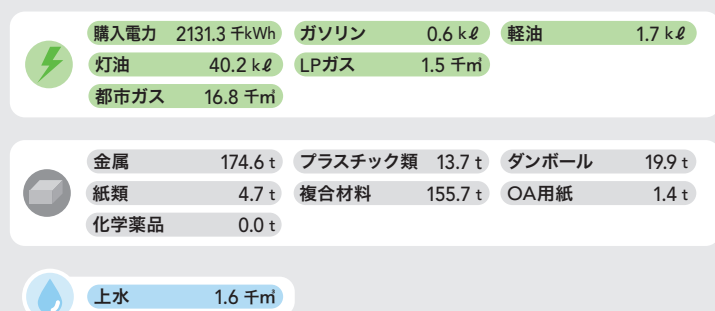
#### 栃木日東工器



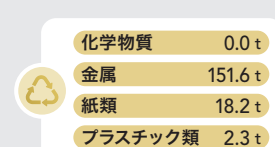
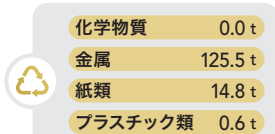
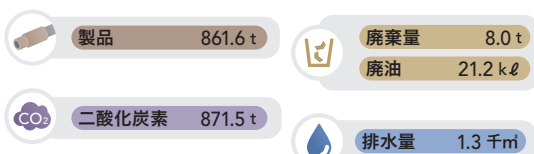
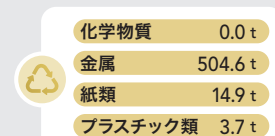
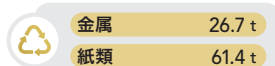
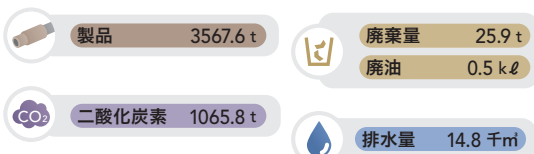
#### 白河日東工器



#### メドテック



### OUTPUT



## オフィスの取り組み

本社オフィスは、空調管理に省エネルギー技術を採用しています。自然の力をうまく取り入れることによって、環境に負荷をかけることなく、1年を通じてオフィス内を快適な状態に保つことができます。

オフィスでの取り組みを紹介します。

### 日東工器本社



日東工器の本社社屋はさまざまな環境への配慮をしています。

社屋の環境対応では、オフィスには大開口のペアガラスを採用し、日中は外光を取り入れながら熱の出入りを抑え、節電につなげることができます。

建物外観の大きな特徴となっているルーバー（電動外部ブラインド）は壁面の放射熱を約90%カットし、省エネルギー化に貢献します。

オフィスの空調は、天井に設置したアルミ製の放射空調パネルで行います。冷房はパネルに冷水を流し、冷気でオフィス内を快適な温度に保ちます。加えてアンダーフロア空調という床下からの空調も導入しました。涼しい季節は、空調を停止して、窓際の天井部分と網戸で自然換気を行っています。従来方式の空調に比べて30%程度も省エネルギー効果があります。

社屋の給水システムでは、雨水を地下貯水槽にため、トイレの排水に利用しています。その効果で、本社の上水道使用量は通常より40～50%削減が可能です。

### 「ビジネスカジュアル」の制定



政府が掲げるCOOL CHOICEの取り組みに賛同し、「環境保全・省エネ意識啓発」の一環として、当社では室温を夏は28度・冬は20度に設定し、クールビズ・ウォームビズを実施しています。2021年からはさらなる対策として、年間を通し適温で快適に業務を行えるように、季節による服装の制限を廃止した「ビジネスカジュアル」を制定しました。具体的にはTPOに合わせたノーネクタイ・ノージャケット・ポロシャツの着用可など、季節を問わず気温に応じた服装を選ぶことで、体調の維持管理や冷暖房の電気使用量削減に取り組んでいます。

Part  
7

独自の技術と設計で皆さまの環境保全に貢献します。

## 製品開発



日東工器は開発面でも環境貢献に力を入れています。環境配慮設計（DfE=Design for Environment）評価の採用もその一つです。今後も独自の技術開発で環境保全に努めます。

## 自社製品コンセプト

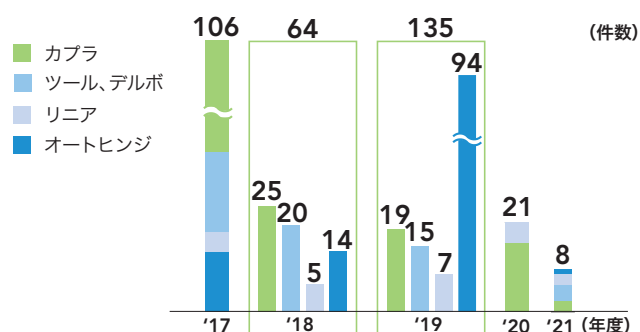
日東工器は創業から半世紀余にわたり、一貫して人間に焦点を当て、独創的な技術を生かしたモノづくりを行っています。当社製品が目指してきたのは「産業界の省力・省人化、作業環境の改善」であり、使う人の立場で社会に貢献し続けることです。

ここにちでは「カブラ」「ツール、デルボ」「リニア」「オートヒンジ」の4事業でさまざまな製品を世の中に送り出し、いずれも高い評価をいただいています。

## 環境配慮設計

日東工器で、新製品や改良製品を設計する際に取り入れているのがDfEです。DfEとは、開発段階からお客さまの製品廃棄時までを通した各段階で、環境負荷をできる限り低減する設計のことです。

2016年度からは、既存製品についてもDfE再評価を実施しています。DfEを2004年度から導入し、2021年度までの18年間で累計542件の環境配慮製品を開発・改良・再評価しました。



## モノがたり

## 既存のハンドツールをロボットで使いやすくするための最適化



少子高齢化に伴う人手不足により、バリ取り・研磨工程の自動化需要が高まっています。しかし、町工場でも導入しやすい小型のロボットを使用した簡単・軽量・低コストのロボット専用工具の開発が望まれていました。

そこで、実際にロボット専用工具として必要な機能を洗い出しました。

- ①シンプル・軽量・コンパクトな形状、かつ安価であること
- ②工具を取り外しても作業位置が変わらないよう、取り付け位置の再現性を確保

- ③作業対象品の寸法誤差に適應するため、フローティングユニットへ固定
- ④ハンドツールとのデザインを差別・識別化

性能評価方法や完成品検査規格など、既存のハンドツールと同様とはいかず、まったく新しい方法を構築する必要があり苦労しました。

市場調査を主目的に製品開発しましたが、今後はこれらの製品からお客さまのご意見を参考に、もっと使いやすい製品へとバージョンアップを図ってまいります。

## ●エアソニック L-35C

狭い、奥まった箇所でもバリ取りのできる空気式ダイグラインダー



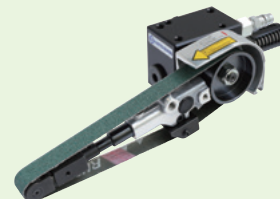
## ●オービタルサンダー APS-125

デュアルアクションにより、広い平面を研磨目なしで研磨できるエアサンダー



## ●ベルトン B-20CL

比較的広い角部をベルトの柔らかい当たりでバリ取りのできる空気式ベルトサンダー





迅速流体継手

## NKカプラコイルホース フルブローカプラ付き

「NKカプラコイルホース」のラインアップに、多くのお客さまからご好評をいただいている「フルブローカプラ」を取り付けた「NKカプラコイルホース フルブローカプラ付き」を追加しました。先行して商品化した「NKカプラホース フルブローカプラ付き」とともに、ホースの種類・サイズ・長さの選択肢が増え、お客さまの使用用途に合わせたご提案・ご提供が可能になりました。「フルブローカプラ」の特徴を生かした、安全性向上など作業環境改善に貢献できる製品です。

### 主な特徴

- ① ワンタッチ接続・開閉バルブ内蔵による内圧ゼロのスムーズ操作・残圧パーシ機能の「フルブローカプラ」付き
- ② 「フルブローカプラ」には操作性・落下衝撃低減を考慮したスリーブカバー、ホース折れ防止のスプリングナット、防塵キャップを装備
- ③ 「コイルホース」はスパイラル加工したポリウレタン樹脂チューブ



逐次型空気圧式マッサージ器

## DVTメドマー DVT-2B

「DVTメドマー DVT-2B」は、手術や入院中のベッド生活などで、静脈に血栓が生じて詰まる深部静脈血栓症（DVT）の予防に適した医家向けの空気圧式のマッサージ器です。当社の従来製品からデザインを一新し、体積比で約6割小型化することで、さまざまな医療機器が並ぶベッドサイドでも無理なく設置することが可能となりました。また、バッテリーを内蔵しコードレスでの使用が可能です。病室での24時間以上におよぶ連続使用の際も、患者さまのストレスとならないように静音設計にもこだわりました。装着するアタッチメントは、ふくらはぎ用と足裏用の2種類をラインアップし、状況に応じて使い分けができます。

### 主な特徴

- ① 清掃性を考慮したシンプルなデザイン
- ② バッテリー内蔵により移動時でも使用可能
- ③ 患者さまの眠りを妨げない静音設計
- ④ 2種類のアタッチメント



 GOOD DESIGN AWARD  
2020年度受賞

空気式高速多針タガネ

## ジェットタガネJT-10

ジェットタガネ（空気式高速多針タガネ）は、先端の硬鋼線ニードルを往復運動させて対象物の表面をたたく工具です。空気式高速多針タガネ「ジェットタガネJT-10」は、シリーズ最小・最軽量です。そのため、重量を感じにくいサイズの新感覚タガネで、作業者の負担軽減を実現しました。作業対象物に傷をつけたくない繊細な塗装はがし、ダイカスト製品のバリ取り、溶接スケール除去などの作業に使用できます。

### 主な特徴

- ① 超軽量かつ防振手袋をしていても握りやすい細型モデル
- ② シリーズ初の流量調整つまみ搭載
- ③ 細かい作業に適したφ1.6mmのニードル
- ④ ニードル交換は工具不要



## 生産部門の取り組み

メーカーである日東工器にとって、生産現場での改善活動と環境への取り組みは非常に重要です。多岐にわたる製品を生み出す生産拠点で、どのような取り組みが行われているのか、国内外の主要な生産拠点を例にとって説明します。

### 栃木日東工器

#### 小集団改善活動の紹介

栃木日東工器では小集団改善活動としてP I活動(Production Innovation / 生産革新活動)に取り組んでいます。

工場の事業計画達成のために「品質の向上、生産性向上、コスト削減、不良撲滅」などを主とした活動を60テーマ設定しています。設定したテーマは13のサークルで振り分け活動し、テーマごとに成果の発表会を開催しています。

今期も活動成果として多くの改善効果を見込んでいます。



#### 生産改善活動の紹介

栃木日東工器では、主力生産品「ハイカプラ」の組み立て設備の大幅な改善に取り組みました。

コンプレッサからの圧縮空気を駆動源として組み立て機器を動かしており、常に圧縮空気を送り続けて多量に消費していた。

また、組み立て不具合の発生時には設備が停止することで不良品の流出防止を図っていました。

改善した設備では、圧縮空気の消費の少ない機器を使用し、また組み立て不具合の発生時には、その不具合品を別ラインに自動排出する機能を設けました。これにより、従来は不具合品の発生時には人が都度対応していましたが、不具合品が発生してもそのまま設備が停止せず、生産を継続できることから、さらなる長時間の無人連続運転が可能となりました。

設備の仕様構想段階では、何度も試行錯誤し、検討を重ねましたが、完成した新設備では、圧縮空気使用量の30%削減に成功し、不具合発生時の対応のための監視員も不要となり、長時間の完全無人運転を実現しました。



### 白河日東工器

#### 小集団改善・生産改善活動の紹介

白河日東工器では、生産合理化と環境負荷低減を目的に、高周波溶接機の自動化と新規NC旋盤を導入しました。高周波溶接作業は、対象部品の溶接箇所や形状、向きによって品質にバラツキが生じやすいため、知識と経験豊富なベテラン社員の技術でカバーすることがありました。しかし、搬送ロボットと取り付け作業を自動運転化することで、品質安定とリードタイム短縮を図ることができました。

NC旋盤は、老朽化した設備では部品加工時に油煙が発生していましたが、新規導入により加工性向上だけでなく、空気中の油煙も低減し作業環境も良くなりました。

組立現場では、リニア製品用DCモータの内製化とともに量産体制の構築を行いました。内製化後は、座り作業から立ち作業にシフトしやすいように作業台の改善やレイアウトの

変更、治工具の製作を行いました。また外部の工場より移管された設備をメンテナンスし、モータ生産における新たな技術を習得いたしました。

今後も生産改善活動に取り組み、効率化や作業環境改善を推進します。





## メドテック

### 小集団改善活動の紹介

メドテックで実施している小集団改善活動は、従来はサークルごとに活動方針を決めていましたが、2020年度からは全社で同じ方針に基づきテーマを決定し、各サークルが活動しました。これは、一つの目標に向かって社内一丸となって活動を進めることで、大きな成果を得ることを目標としています。

2021年度は基本条件整備活動に取り組み、生産の安定化につなげました。特に環状刃物を生産しているサークルでは、設備総合効率を15%以上向上させ、大きな成果を得ました。



### 生産改善の紹介

メドテックで生産している環状刃物工具の製造ラインでは、さまざまな生産設備が稼働しています。

設備の状態が製品品質や生産効率に直結するため、設備保全＝品質保全の考えのもと、TPM活動※を実施しています。

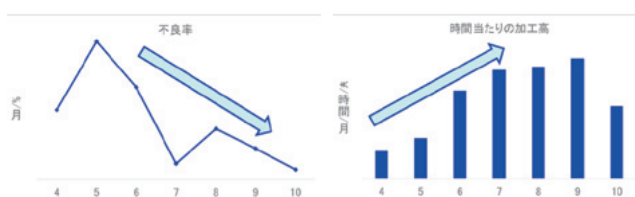
設備が抱える不安定箇所を洗い出し、さらに良品率・生産効率に与える影響について、過去事例を元にリスク分析を行いました。取り組み開始当初は、すぐに大きな改善効果は得られ

ませんでした。根気強く継続した結果、現在では期初比で良品率33%、生産効率は25%向上し、数字に表れる形で良い方向に推移しています。

重要設備などは、リスク分析の結果を元に保全のタイミングを見直し「保全カレンダー」を作成しました。これにより、定期保全がトラブル発生前の最適なタイミングで実施でき、生産性向上に寄与しています。

良品率、生産効率がともに向上し、ロス削減によるムダの排除ができ、環境負荷低減にもつながっています。

※ TPM活動：総合的設備管理（TPM：Total Productive Maintenance）活動とは、企業などにおいて、製造設備の保守管理を総合的に行い、設備停止時間の減少を目指し生産性の向上を図る活動。



チェック交換による振れ精度向上



保全カレンダーによるオーバーホール

## NITTO KOHKI INDUSTRY (THAILAND)

### 環境活動の紹介

NITTO KOHKI INDUSTRY (THAILAND) では、安心してご使用いただける製品を、継続してお届けできるよう、2021年度もさまざまな活動を行ってまいりました。

#### ① ISO14001 (2015年版)

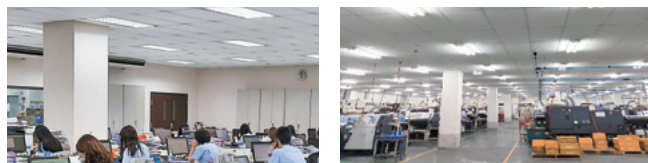
2009年にISO14001を認証取得し、2018年に2015年版に移行しました。

#### ② 節電による二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) の削減

2021年11月に工場棟の1,239本の蛍光灯をLEDランプへ交換しました。蛍光灯で使用していた電気使用量が、50%程度削減できる見込みです。また、以前より明るくなり作業効率の向上にもつながりました。

#### ③ 継続に向けて

新型コロナウイルス感染症発生に伴う健康管理、入手困難な仕入れ部品や材料の確保など、生産の継続に尽力してまいりました。



NITTO KOHKI INDUSTRY (THAILAND)

### 海外環境データ

#### 海外生産グループ会社のCO<sub>2</sub>排出量と電力使用量

|                   |                     |          |
|-------------------|---------------------|----------|
| NKAM<br>(オーストラリア) | CO <sub>2</sub> 排出量 | 97t      |
|                   | 電力使用量               | 153kWh   |
| NKIT<br>(タイ)      | CO <sub>2</sub> 排出量 | 1,487t   |
|                   | 電力使用量               | 2,650kWh |



## 技術で、人を想う。

約60年間にわたって培ってきた技術力や、高品質への信頼に加えて、今後はより画期的な製品開発やサービスの提案が必要とされています。こうした時代の中で、私たちは「ユーザーの立場に立って考え、行動すること」を今まで以上に大切にしていきます。

## 日東工器 社会・環境活動関連年表

|       | 活動                                 | 区分            |
|-------|------------------------------------|---------------|
| 1956年 | 日東工器株式会社設立                         | —             |
|       | 省エネルギー・省人化製品(エアマイクロメーター・カブラ)製造開始   | 環境製品          |
| 1958年 | 省エネルギー・省人化製品(ツール)製造開始              | 環境製品          |
| 1973年 | 省エネルギー・省人化製品(リニア)製造開始              | 環境製品          |
| 1997年 | 日東工器株式会社ISO9001認証取得                | ISO9001       |
| 2000年 | 省エネルギー・省人化製品(オートヒンジ)製造開始           | 環境製品          |
| 2001年 | 日東工器グループでISO14001認証取得活動開始          | ISO14001      |
| 2003年 | グリーン調達分科会を設置・活動開始                  | グリーン調達        |
|       | 新製品の環境配慮設計(DfE)評価を開始               | 環境製品          |
| 2004年 | 日東工器株式会社ISO14001認証取得               | ISO14001      |
|       | グリーン調達ガイドライン0版発行                   | グリーン調達        |
|       | グリーン調達活動開始                         | グリーン調達        |
| 2006年 | 多摩川河川敷清掃活動開始                       | 社会・環境活動       |
| 2007年 | 営業車ハイブリッド車導入開始                     | 社会・環境活動       |
| 2009年 | 日東工器本社建築新社屋「CASBEE」最高ランク評価相当       | 社会・環境活動       |
|       | 環境報告書の発行                           | 環境報告書         |
| 2010年 | グリーン調達委員会を設置・分科会より活動移行             | グリーン調達        |
|       | 近隣清掃活動開始                           | 社会・環境活動       |
|       | 主要グループ会社ISO14001認証取得完了             | ISO14001      |
| 2011年 | 大田区環境イベント「エコフェスタワンダーランド」参加         | 社会・環境活動       |
|       | 山形県「やまがた絆の森プロジェクト」参加(株式会社メドテック)    | 社会・環境活動       |
| 2013年 | グリーン調達ガイドラインから基準へ名称変更(7版より)        | グリーン調達        |
|       | 大阪市ごみ減量優良標章受贈(西日本支社)               | 社会・環境活動       |
| 2014年 | 製品含有化学物質管理システム(CMS)を構築             | グリーン調達        |
|       | 塩化メチレン使用中止で全生産拠点有害物質使用の全廃達成        | グリーン調達        |
| 2015年 | 大阪府環境局特定建築表彰受賞(西日本支社)              | 社会・環境活動       |
| 2016年 | 既存製品のDfE評価(評価見直し)開始                | 環境製品          |
| 2017年 | 大田区廃棄物抑制・リサイクル推進優良事業者表彰受賞          | 社会・環境活動       |
|       | 日東工器グループISO9001/14001:2015年版への移行完了 | ISO9001/14001 |
| 2018年 | 山形県「みはらしの丘清掃」参加(株式会社メドテック)         | 社会・環境活動       |
|       | 大阪市ごみ減量優良建築物標章受贈(西日本支社)            | 社会・環境活動       |
| 2019年 | JICA人事行政セミナー 国際研修員受け入れ開始           | 社会・環境活動       |
|       | 「大田区高齢者見守り推進事業者」に登録・協力開始           | 社会・環境活動       |
| 2020年 | コロナ下において医療用吸引器/マスクを医療機関・自治体へ提供     | 社会・環境活動       |
|       | 地元中小企業との特別商談会を実施                   | 社会・環境活動       |
| 2021年 | 新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施              | 社会・環境活動       |

## 日東工器株式会社

■ 本社：〒146-8555 東京都大田区仲池上二丁目9番4号  
 ■ TEL：03-3755-1111代  
 ■ URL：https://www.nitto-kohki.co.jp/



▲ ホームページはこちら



▲ YouTubeでも公開中